

平成 2 7 年

第 2 回仙北市議会臨時会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 7 年 5 月 1 3 日

平成27年第2回仙北市議会臨時会の開会にあたり、前回定例会後の主な事項について、ご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇新年度スタートについて

市内の各小・中学校とも4月6日に始業し、7日から9日にかけて入学式も予定通り実施されました。小学校7校の児童数は、1,215人（前年度比1人減）、中学校5校の生徒数が618人（前年度比40人減）、計1,833人で新学期がスタートしております。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

4月21日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。国語、算数・数学、理科の知識と活用に関する調査のほか、生活環境や学習環境等に関する質問紙による調査も行われました。この調査は、全国の国公立の全小中学校の児童・生徒が対象となる調査で、本市でも全小中学校が参加しております。

◇仙北市育英奨学資金の貸与者の決定について

平成27年度「仙北市育英奨学資金」に高校2人、専門学校7人、短大3人、国公立大学3人、私立大学5人の計20人（昨年度13人）の申請がありました。

4月16日に、仙北市育英奨学資金運営審議会（市内中学校・高等学校長、学識経験者、地域センター所長等8人）を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、申請された20人全員が平成27年度奨学生として教育委員会に答申され、4月30日の定例教育委員会において答申通り決定されました。

◇クニマスの教材化について

来年春から使われる光村図書出版(東京)の中学1年の国語の教科書に、「幻の魚は生きていた」と題した、中坊徹次京都大学名誉教授の書き下ろしの文章が取り上げられることになりました。

クニマスの絶滅から発見にいたる経緯が記され、クニマスを保全し、田沢湖への里帰りにつなげてほしいという、中坊教授の願いが込められた7ページの長文となっています。これは4月22日付けの秋田さきがけ新報でも紹介されましたが、仙北市は、学校教育の重点として「ふるさとへの愛着や誇りを育てる教育」に力を入れてきており、クニマスが全国の国語教育の教材として取り上げられたことを心から歓迎したいと思います。

【公民館】

◇仙北市公民大学のスタートについて

4月23日に角館交流センターで、仙北市公民大学の入学式・始業式が行われました。公民大学は、一昨年度から仙北市公民大学と名称を改め、参加対象を市内全域としたことや、年齢制限を撤廃するなど、より開かれた大学を目指しております。郷土研究学科をはじめとした5学科に、14人の新入学生が加わり、39歳から94歳まで157人の学生が、新たなスタートをしております。

また、田沢湖・西木公民館においても、新年度の講座や事業が順調に始まっております。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「高井有一と文化講演会」展について

新潮社記念文学館では、4月11日から6月14日まで、仙北市市制10周年記念事業・角館図書館後援会50周年記念事業「高井有一と文化講演会」展を開催しております。今回は角館図書館後援会が主催する文化講演会の講師を、昭和44年以来休むこと

なく紹介していただいている高井有一氏の作品や原稿などのほか、各講師の色紙や作品等を展示しております。多数の著名作家の色紙の展示とあって、来館された皆さんからは、大変好評を得ており、今後もたくさんの方々のご来場をお待ちしております。

【市民会館】

◇生保内節全国大会について

去る4月30日に、第30回生保内節全国大会実行委員会が開催されました。今年の大会は、市制10周年並びに第30回を記念する大会として、9月22日と23日に開催いたします。初日は、一般の部の予選大会、2日目は、年少者の部の決勝と一般の部の準決勝・決勝を行います。今大会は、節目となる記念大会であることから、特別ゲストをはじめ、褒賞品や記念品を地元産品とするなど、記念大会にふさわしい盛り上げを図り、民謡愛好者のみならず、市内外の多くの皆さんに楽しんでいただける大会となるよう取り組んで参ります。

【スポーツ振興課】

◇2015 F I S フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会について

去る2月28日と3月1日の両日、秋田県たざわ湖スキー場において、秋田県で初めてF I S（国際スキー連盟）のワールドカップが開催されました。世界14カ国から選手71人とコーチ46人の合わせて117人をお迎えし、28日のモーグルと1日のデュアルモーグル競技で熱い戦いが繰り広げられました。

予想をはるかに超えた連日約4千人の観客が来場し、目の前の迫力ある競技に魅了されました。特にモーグル競技における星野純子選手と、デュアルモーグル競技の伊藤さつき選手が銀メダルを獲得した競技時には、スキー場内が大歓声につつまれました。

試験的に販売した60席の有料プレミアムシートは、予約で満席となり、コース脇の無料観覧席もほぼ満席、出店等が並んだ、にぎやかしの広場もお客さんで溢れかえりました。

また、競技日前に計画した角館武家屋敷散策や乳頭温泉郷の秘湯、田沢湖巡りのエキスカーションツアーには、2日間で78人の外国選手やコーチの方々が参加し、冬の仙北市の魅力を堪能いただけたと感じております。

今後、この大会をスキー人口や観光客等の増加に結び付けるために、次回以降の課題解決に向けて、秋田県や秋田県スキー連盟、仙北市観光連盟等とともに積極的に取り組んで参ります。

【文化財課】

◇さくらの状況及び武家屋敷の公開事業について

今年の桜の開花状況についてご報告いたします。既にご存じのとおり、今年は平均気温の上昇により、東日本全体で桜の開花が早まったように、本市でも武家屋敷通りのシダレザクラが4月15日に開花し20日に満開、桧木内川堤のソメイヨシノは17日の開花で21日に満開となり、“角館の桜まつり”開催前の開花は、最近では見られない珍しい状況となりました。今年は、昨年に比べウソの飛来が多かったのですが、これに対する花芽食害防止業務を行ったこともあり、昨年にほとんど引けをとらない開花となりました。

また、武家屋敷の公開事業については、4月10日から重要伝統的建造物群保存地区内の「岩橋家」、「河原田家」、「小田野家」と同地区外の「松本家」の公開を始めております。その中で、一昨年から実施しておりました国庫補助事業の小田野家主屋改修工事が完成し、今春からご覧いただき好評を得ております。

なお、20日には田沢湖郷土史料館の公開もスタートしております。

【角館町平福記念美術館】

◇「館蔵品展2」について

2月22日から4月12日まで、「館蔵品展2」を開催いたしました。美術館所蔵作品、寄託作品の中から仙北市ゆかりの作家の額装作品を中心にした展示と常設展示の「平福穂庵・百穂展」を開催いたしました。

この期間中の入館者数は358人で、市民の方々の来館も徐々に増えてきております。

◇「美術館コレクション展」について

4月18日から6月21日まで、「美術館コレクション展」と題して、仙北市出身画家の作品を中心に、美術館が所蔵している日本画、油彩画、木版画等、様々なジャンルの作品を20点展示しております。今回は、軸装、屏風、額装など、多彩に楽しめる作品展となっております。常設展示の「平福穂庵・百穂展」と一緒に、市内外の多くの方々に仙北市が誇る郷土作家の作品をご鑑賞いただきたいと思っております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げまして、教育行政報告といたします。